健康友の会みみはら2020年１月会員数（世帯数）

会員数	37,576	（前月比）＋ 69
郵　送	9,614	（前月比）＋105
手配り	26,915	（前月比）－1,550

協同基金到達額　2,522,530,000円（1/31現在）
［前月比 9,858,000減］
協同基金出資者数　19,365名（1/31現在）
いのちを守る助け合い募金額　17,485円（1/1～31）

とも friend

2020 3 No.438

発行
健康友の会 みみはら
民医連
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860
1部 30円

健康でいきいきくらせるまちへ ふれあい、支え合いをひろげよう

地域にもっと友の会の輪を

拡大代表世話人会議集中討議

2月6日、フェニーチェ堺で、拡大代表世話人会議が開催されました。会員、職員合わせて85人が参加し健康友の会みみはらの今後の活動について活発に討論が行われました。

▲５つの分散会で熱心に討論

▶ニューヨーク行動参加者からの訴え

江戸会長のあいさつの後、4月にニューヨークで開催されるNPT再検討会議と原水禁世界大会の参加者から、代表派遣カンパの訴えがありました。土井事務局長から私たちをとりまく情勢と2019年度の活動の振り返り、2020年度の活動方針（①保健予防と健康増進とつながりづくり②ふれあい支え合い活動③班会、支部活動を支える担い手づくり④環境・平和・まちづくり運動⑤みみはらグループと共に進める友の会活動）が提案されました。

続いて、総合病院より「耳原総合病院の機能と役割」、組織健診課より「大腸がん予防と大腸がん検診、肺炎と肺炎球菌ワクチン」、NPO法人結いの会ともうずより「ふれあい支え合い事業」について報告がありました。

これらの報告をもとに、①支部・班活動を通して友の会のつながり活動をどう広げていくのか。②地域の高齢化、核家族化の中で、見守り活動や、ふれあい支え合い、ワンコイン運動どう広げていくのか。③保健予防、健康づくりの活動をどうすすめていくのか。④活動の担い手、後継者づくりをどう結びつけていくのかなどについて、５つの班に分かれて分散会をおこないました。

分散会では、友の会の班会・サークル活動の取り組みや、たまり場の運用についての交流を行いました。また、今年度初めて取り組んだ「お元気ですか」訪問活動や、子ども向けの企画の経験が交流されました。地域に友の会の輪を広げ、機関紙「とも」の配達やたまり場のお世話などの協力者をどう広げるのかの議論が活発に行われました。

分散会の討議の内容をもとに、2020年度の方針づくりを行なっていきます。（事務局）

あいさつをする江戸会長▶

土井事務局長から2019年度の活動ふりかえりと活動方針の報告▼

第33回総代会のご案内

2020年度の健康友の会みみはら総代会を以下の日程にておこないます。

日　　程：５月30日（土）13時～
場　　所：みみはらホール
参加対象：各支部からの代議員（26支部）
内　　容：2019年度到達の確認
2020年度方針の確認
役員選出

※支部では、総代会までに支部総会及び議案書確認をおこなってください。

聴診器

堺東駅西口、中百舌鳥駅南海ー地下鉄連絡口で、雑誌を手に販売する男性をご存知だろうか。「ビッグイシュー」、2003年ホームレスの自立を応援する事業として始まった雑誌だが、発祥は英国。創刊当時から、あまり注目されない社会の周縁にある問題――若者の雇用問題、ひきこもり、自死など――当事者だけでなく、誰にでもかかわる問題が取り上げられてきた。人間が生きていくのに本当に必要なこと、この地球で他の生物と共存していく術や作法、暮らしを自分の手に取り戻し生活を楽しくシンプルにする技術、自分らしい人生を創造する人たちのユニークな生き方、心に響くアートや芸術など。知っていればいつか役に立つような事柄がとりあげられている▼社会問題、政治、環境・エコロジー問題、自由・人権、平和、国際事情がテーマになると、ともすれば硬くなりがちだが、ともに解決を考えることで、より生きやすい社会を作っていくために、読み手にもどう参加しようかと考えさせる紙面づくりが上手い▼〝誰もが排除されない、すべてのひとが生きやすい社会を目指す〟目線がやさしいからか。興味持たれた方、ぜひ手に取ってみてください。（緒方浩美）